

子育て支援の充実と 交通弱者に優しい道路の整備を



坂原シモ議員

【質問】 はしか、風疹など流行性疾患の病後児の受け入れについては、長期の自宅待機が必要とされ子どもを見られない家庭もあり、病後児の受け入れ施設が必要と考える。ファミリーサポート事業の中での受け入れ体制の整備や利用料の補助など考えてはどうか。

【答弁】 病後児保育の実施には、看護師、保育士を配置し医療機関の協力を得る必要がある。今後実施した場合の経費について調査したい。ファミリーサポートの中で受け入れてくれる会員がいる場合は、ひとつの方法として利用料金、医療機関との連携について考えたい。社協の事業で「暮らしの応援スマイルとうど事業」が実施されているので今後社協とも相談し周知していきたい。

【質問】 ベビーカーや自転車、電動車いすなどの交通弱者にとつて道路のわずかな段差や亀裂が通行の支障になる。転倒して怪我をされた例も聞く。弱者の目線での道路づくりや補修が必要と考えるが、また、市の公民館の駐車場を通り抜ける車が多く見受けられ、公民

館利用者に事故が起きないように安全対策を考えられたい。

【答弁】 交通弱者に優しい道路を建設し管理することが重要と考えている。維持補修についてはパトロールを行い傷んだ場所から順次行っている。公民館では利用者の安全を考え、よりわかりやすい標識を設置し安全走行を促したい。



交通弱者に優しい道路づくりを

【質問】 新幹線開業とまちづくりについて食の産業、地元食材のレストラン、既存のレストランとの連携は。 【答弁】 新たな起業家や既存の事業者への支援について検討したい。

選挙ポスター掲示板 設置個所について



久保田幸治議員

【質問】 岡山地区に選挙ポスターの掲示板が1箇所もない集落が3集落ある。公平性の点からも問題。最低でも1箇所あつてしかるべきだが、見直す考えはあるのか。

【選挙管理委員長】 現状は有権者には不便と認め、変更に向け検討する。検討結果によつて増設するなら費用の問題がある。

【総務部長】 検討していただきその上で処置をする。

◇投票所までの交通対策について 【質問】 投票所までが遠く交通手段のない高齢者など、投票率アップの面でも投票所への交通対策ができないか。

【選挙管理委員長】 費用の面、投票の秘密保持、公平性、特定地域の便宜供与になる等の問題があると考え、対応は考えていない。

◇インターネットの選挙開票の放送について

【質問】 今の開票放送は静止画像による放送であり「見たいと思わない」との声を聞くが、更なる工夫ができないか。

【答弁】 今後内容について検討し、開票場の一部も入れ動画で放送したい。

◇子育て支援事業について

【質問】 市長の選挙公約に「中学卒業まで医療費の無料化」と「第三子の保育料無料」がある。早急に実現できるよう手続きを進めるべきだと考える。

【答弁】 来年4月1日から実施したい。



◇老人福祉について

【質問】 市長は老人福祉について「調査をして」といつているが、早急に調査し政策を進めてほしい。

【答弁】 民生委員さんに協力していただき、全職員で実態を調査し取り組んでいきたい。

高齢者の 所在確認について



望月弘幸議員

◇高齢者の所在確認について

【質問】 限界集落が市内6集落あるというが、高齢化に伴い、所在不明の現状はどうか。

【市長】 民生委員の皆さんにお願いし、確認しており、現在不明者は飯山市にはいない。

◇雑木の立ち枯れ対策について

【質問】 雑木の立ち枯れは県北部に向けて広がり、有効な対策となっていない。今後、市の枯損木除去対策はどうか。

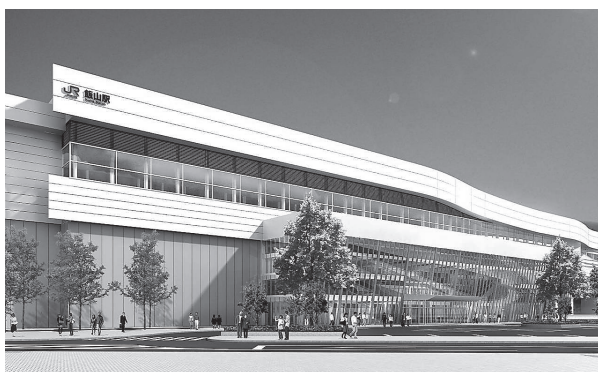
【市長】 本年度、道路等公共施設の隣接地で、人的被害の恐れがある場合に除去をしている。

◇有害鳥獣対策について 【質問】 本年度は特に多くの熊の出没が確認されている。市の十分な対策を。

【市長】 農作物にも大きな被害が出ている。今後、対策を強化していく。

◇市民会館の建設について

【質問】 過疎地域自立促進計画に盛り込まれており、今後のスケジュールをお聞きしたい。また、広域圏での利用も視野に入れた考え



新幹線飯山駅舎デザイン案

子どもの脳脊髄液 減少症対策について



小林初子議員



【質問】 脳脊髄液減少症は、交通事故やスポーツ外傷等による頭部や全身への強い衝撃が原因で髄液が漏れ減少することによつて引き起こされる。頭痛・めまい・吐き気思考力低下・けん怠感など様々な症状が出る。市内でこの病気が発症してしまつたことは大変残念。初期症状の発見は難しい。特に活発な子供達には注意が必要であり、教職員の正しい認識が不可欠。そこで当市公式ホームページ上で脳脊髄液減少症に関する情報公開を行い、脳脊髄液減少症の診断並びに治療を行っている医療機関の公表と、この疾患に関する正しい情報を発信していただきたい。小冊子「子どもの脳脊髄液減少症」の活用も大変有効と考えるが。

【教育長】 小冊子を各学校の養護教諭に配布して、養護部会で十分検討し教職員へ徹底していきたい。

【質問】 福祉問題について、様々なストレス等から精神の病気を患う人が増えているが、充分な対応が

なされていないのが現状。民間のNPOで意欲的に相談支援を行っている所があるが、行政として支援はできないか。

【部長】 現場の課題をお聞きして検討、研究していきたい。

【質問】 集落サロンは大切な施策だが、未開催の集落が多い。位置付けを明確にして、丁寧な対応を。

【市長】 世話人の選任が一番の課題。負担感を減らす工夫をしながら呼びかけをしていきたい。

【質問】 人形館の割引券配布を。

【部長】 割引券は考えていないが「市民無料開放デー」という形で設けることを検討したい。